



五戸町が無償譲渡を申請する旧五戸高校舎＝27日、五戸町

旧五戸高に私立高誘致へ

町方針、県に無償譲渡申請

2022年3月に閉校した旧青森県立五戸高校について、五戸町が県に無償譲渡を求めた上で県内の私立高校を誘致する方針であることが27日、複数の関係者への取材で分かった。町は28日、旧五戸高の土地・建物を所有する県に対し、無償譲渡を申請する。

同日は申請に先立ち町議会全員協議会を開き、町が旧五戸高の活用方針を町議に説明する。その後、若宮佳一町長が県庁を訪ね、宮下宗一郎知事に申請書を手渡す。

旧五戸高の跡地を巡っては、これまで水面下で利活用を模索する動きがあった

が、県は全ての土地・建物を引き取ること無償譲渡の条件としていた。加えて、譲渡後の維持管理に多額の経費がかかることも障害となっていた。

同校は1928年に「五戸町立五戸実業公民学校」として創立。五戸地域唯一の普通高校として、1万2千人以上の卒業生を輩出した。サッカー部は1986年の全国選手権でベスト8入りを果たすなど、部活動でも顕著な成績を残した。

(田村純也)